



ラバス！ 国際交流員のアスタです。

皆さん世界の美しさに最後に感動したのはいつですか？

私はリトアニアに住んでいた時、毎日世界の美しさを感じていました。何故それをできたかという、非常に美しい森の隣に住んでいたからです。毎日森の中で散歩し、突然出会ったシカに、緑の床から生えた「キノコの王」に、風と踊っている樹齢80年近くの木に感動したことを覚えています。物語の中ぐらいいか出会えないような森が、私が住んでいた場所にありました。その森は島にないですが、八丈島ではまた別の感動がありました。例えば……

1. 海に潜った時。人間は陸上の生き物だから、海の世界に入るのが自然的ではありません。森に育てられた私が「海はきれい」くらいしか思いませんでした。それは全身が水に入り、荒い呼吸を整え、周りを気づいた時に変わりました。「ここにもイキイキしている世界がある」と海の動きを見ながら感動しました。
2. 八丈から他の島に行った時。なかなか、島ってどういうものなのか、まだよくわかりません。八丈島は普通の町よりすごい所だと思っていますが、別の島にはあまり興味がありませんでした。それは三宅島に行った時に大きく変わりました。同じ島なのに全く違う所でした。自分の考え方を広げてくれた三宅島に感動しました。
3. 山の中にいた小さなヤモリを見つけた時。島に来た日、印象的だったのが家の中の壁を走っていたヤモリです。恐怖が溢れている目で三匹を見ていたことを覚えています。しかし半年経ってそれも変わりました。三原山を散歩した時、仲間がヤモリを発見して手の上に乗せました。それを見て、初めてどれだけ美しく、傷つきやすく、大切な命だったかに気付きました。ずっと怖がっていたヤモリの足を触り、妙な親しさを感じました。

人は予想もしないときに新たな出会いをもって成長します。

この三つの出来事は八丈島に来なかったらできない体験です。周りをよく見て、チャンスに「Yes！」と言って、自分が知っていることがすべてと思わず、新たな感動を探したいです。

■問い合わせ■

企画財政課企画情報係 電話 2-1120

町HPでAstaの日記を更新しています。ぜひ見てください！

